

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025 年 8 月 20 日

訪日外客数（2025 年 7 月推計値）

◇7 月：3,437,000 人、7 月として過去最高を更新

- 7 月の訪日外客数は 3,437,000 人で、前年同月比では 4.4% 増となり、7 月として過去最高であった 2024 年の 3,292,602 人を 14 万人以上上回り、同月過去最高を更新した。
- 東南アジアなど一部市場では夏場は訪日需要が落ち着く時期となるが、東アジアや欧米豪・中東を中心に多くの市場でスクールホリデーに合わせた訪日需要の高まりがみられたこと等により、東アジアでは中国、台湾、東南アジアではインドネシア、インド、欧米豪では米国、フランスを中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 台湾で単月過去最高を更新したほか、米国やフランス、インドネシアなど 15 市場で 7 月として過去最高を記録した。
- 2023 年 3 月に策定された第 4 次観光立国推進基本計画では 3 つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003 年～2025 年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 7 月過去最高の 15 市場はインドネシア、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、スペイン、北欧地域、中東地域。

【お問い合わせ先】
企画総室 調査・マーケティング統括グループ
TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2025年 訪日外客数・出国日本人数

2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸 率 Change %	2024	2025	伸 率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,629 (3,455,149)	40.7 (44.8)	838,581	912,298	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,491 (2,965,065)	16.9 (16.4)	978,884	1,181,062	20.7
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)	3,497,755 (3,149,434)	13.5 (13.7)	1,219,789	1,423,449	16.7
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)	3,909,128 (3,587,187)	28.5 (29.8)	888,767	961,386	8.2
5 May	3,040,294 (2,758,219)	3,693,587 (3,368,573)	21.5 (22.1)	941,709	1,076,756	14.3
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)	3,377,800 *	7.6 *	930,229	1,054,045	13.3
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)	3,437,000 *	4.4 *	1,048,823	1,205,500 *	14.9 *
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)			1,437,126		
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)			1,212,545		
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)			1,148,502		
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)			1,175,117		
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)			1,187,210		
1～7 Jan.-Jul.	21,075,024 (19,196,251)	24,955,400 *	18.4 *	6,846,782	7,814,500 *	14.1 *
1～12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)			13,007,282		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2024年の値は確定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2024) and provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2025年7月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2024年比）

Visitor Arrivals for Jul. 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 7月	2025年 7月	伸率(%)	2024年 1月～7月	2025年 1月～7月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,292,602	3,437,000	4.4	21,075,024	24,955,400	18.4
韓国	South Korea	757,679	678,600	-10.4	5,199,790	5,462,100	5.0
中国	China	776,520	974,500	25.5	3,849,376	5,692,900	47.9
台湾	Taiwan	571,698	604,200	5.7	3,550,895	3,888,900	9.5
香港	Hong Kong	279,069	176,000	-36.9	1,555,176	1,447,100	-6.9
タイ	Thailand	53,494	48,600	-9.1	671,804	729,100	8.5
シンガポール	Singapore	28,115	24,300	-13.6	328,142	369,400	12.6
マレーシア	Malaysia	19,260	18,100	-6.0	261,057	342,100	31.0
インドネシア	Indonesia	29,571	37,600	27.2	293,393	373,600	27.3
フィリピン	Philippines	55,466	47,400	-14.5	457,233	495,500	8.4
ベトナム	Vietnam	49,733	53,500	7.6	381,631	418,100	9.6
インド	India	14,941	18,300	22.5	136,834	189,400	38.4
豪州	Australia	48,616	50,200	3.3	510,607	617,400	20.9
米国	U.S.A.	251,218	277,100	10.3	1,594,153	1,978,500	24.1
カナダ	Canada	48,158	52,100	8.2	320,422	387,500	20.9
メキシコ	Mexico	16,011	19,800	23.7	80,029	104,600	30.7
英国	United Kingdom	32,910	37,100	12.7	251,401	308,100	22.6
フランス	France	37,353	46,200	23.7	221,678	255,900	15.4
ドイツ	Germany	22,685	28,100	23.9	180,330	230,900	28.0
イタリア	Italy	18,370	21,800	18.7	114,486	157,800	37.8
スペイン	Spain	18,687	24,100	29.0	84,622	122,400	44.6
ロシア	Russia	5,675	11,300	99.1	46,771	94,900	102.9
北欧地域	Nordic Countries	15,871	19,100	20.3	89,541	113,500	26.8
中東地域	Middle East	12,826	20,000	55.9	88,064	135,800	54.2
その他	Others	128,676	149,000	15.8	807,589	1,039,900	28.8

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は確定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are definitive, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

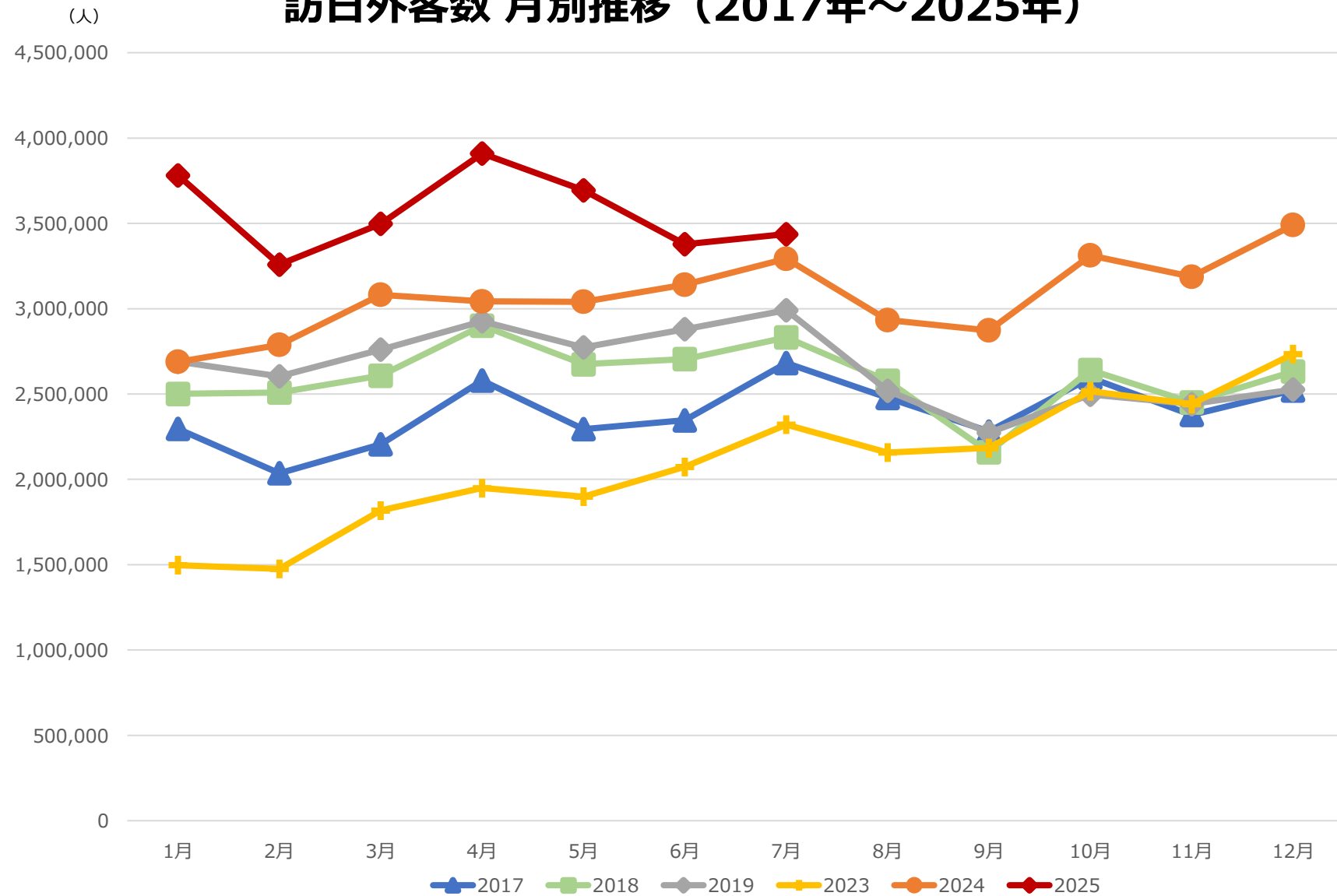
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2025年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年7月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2025年8月13日時点)としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で2025年7月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多く市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が続いている。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、678,600人(前年同月比 10.4%減)であった。地方路線による航空座席数の増加やスクールホリデー等はあったものの、東南アジアや中国等への旅行需要の高まりに加え、日本で地震が発生するという情報がSNS等で拡散されていた。訪日外客数は前年同月を下回った。
- 中国は、974,500人(前年同月比 25.5%増)であった。上海～熊本間、青島～静岡間の新規就航、瀋陽～関西間、上海～広島間の増便等を含む地方路線による航空座席数の増加、クルーズ船の寄港、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- 台湾は、604,200人(前年同月比 5.7%増)であった。高雄～仙台間の新規就航、高雄～成田間の増便、台北桃園～石垣間のチャーター便運航をはじめとした航空座席数の増加、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- 香港は、176,000人(前年同月比 36.9%減)であった。スクールホリデー等はあったものの、日本で地震が発生するという情報がSNS等で拡散されていた。7月中旬に香港に接近した台風による航空便への影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

② 東南アジア

- タイは、48,600 人（前年同月比 9.1%減）であった。バンコク～羽田間の増便等があるものの、訪日需要が落ち着く時期であることや、経済の不透明感による海外旅行需要の低迷等により、訪日外客数は前年同月を下回った。
- シンガポールは、24,300 人（前年同月比 13.6%減）であった。7 月はシンガポールの国外旅行閑散期であり、訪日旅行については、日本の夏の暑さが近年は多く報じられていることで夏季の需要が低くなっていること等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- マレーシアは、18,100 人（前年同月比 6.0%減）であった。マレーシアリングイト高の影響等があるものの、訪日需要が落ち着く時期であることや、祝日のずれ、査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- インドネシアは、37,600 人（前年同月比 27.2%増）であった。訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する日本人気やスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、47,400 人（前年同月比 14.5%減）であった。マニラ～新千歳間の復便等の影響があるものの、訪日需要が落ち着く時期であることや、昨年は 6 月中旬から 7 月末までであったスクールホリデーが今年は 4 月中旬から 6 月中旬までとなったことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- ベトナムは、53,500 人（前年同月比 7.6%増）※であった。割安かつ査証取得が容易な中国等への旅行需要の高まり等の影響があるものの、ダナン～関西間の復便や、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

※ 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- インドは、18,300 人（前年同月比 22.5%増）であった。海外旅行需要の高まりや、ベンガルール～成田間、デリー～羽田間の増便や経由便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、50,200 人（前年同月比 3.3%増）であった。減便等により前年同月と比較して航空座席数が減少したものの、継続する訪日旅行人気や一部の州で前年は 6 月下旬からであったスクールホリデーが今年は 7 月からとなったこともあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **米国**は、277,100 人（前年同月比 10.3%増）であった。スクールホリデーによる若年層の訪日需要の高まりに加え、継続する訪日旅行人気もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- **カナダ**は、52,100 人（前年同月比 8.2%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- **メキシコ**は、19,800 人（前年同月比 23.7%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、37,100 人（前年同月比 12.7%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、中国および香港経由等の経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、46,200 人（前年同月比 23.7%増）であった。7 月上旬から始まったスクールホリデーに加え、継続する訪日旅行人気もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、28,100 人（前年同月比 23.9%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気および経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、21,800 人（前年同月比 18.7%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、2024 年 12 月の羽田～ミラノ間の新規就航や経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、24,100 人（前年同月比 29%増）であった。スクールホリデーや継続する訪日旅行人気に加え、2024 年 10 月に再開した直行便によるアクセス性の向上と航空座席数の増加および経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、11,300 人（前年同月比 99.1%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、スクールホリデーやクルーズ需要の高まりのほか、中国経由をはじめとした経路便の多様化もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- 北欧地域は、19,100 人（前年同月比 20.3%増）であった。スクールホリデーに加え、2025 年 1 月末からのストックホルム～羽田間の新規就航により訪日旅行に関する報道が増えていることもあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- 中東地域は、20,000 人（前年同月比 55.9%増）であった。スクールホリデーに加え、継続する訪日旅行人気や前年同月と比較して直行便数が増加したこと等の影響もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。